

加入者光ファイバ接続料の補正申請内容

1. 需要

ダークファイバに係る需要予測のうち、他事業者が利用するシェアドアクセス方式の需要予測について、ADSL市場の需要拡大期(H13年度第3四半期～H16年度第3四半期)における接続需要の伸び率(年平均196.9%)を用いて算定しております。

・平成22年度稼働芯線数の比較

区分		1月9日申請	補正申請	増減数
フレッツ光		234万芯		(変更なし)
専用線等		14万芯		(変更なし)
ダークファイバ		26万芯	47万芯	+21万芯
	シングルスター方式	24万芯		(変更なし)
	シェアドアクセス方式	2万芯	23万芯	+21万芯
合計		273万芯	294万芯	+21万芯

2. 投資・費用

上記需要に対応し、1月9日申請と同様の考え方で投資・費用を算定しております。

3. 乖離額調整について

・調整対象となる乖離額を「実績接続料収入と実績費用の差額」から「実績接続料収入と予測費用(予測接続料収入)の差額」に見直し、次期接続料原価に加えて調整することとしております。^(注)

(注):算定期間の最終年度(H22年度)は実績接続料収入を見込みで算定し、その見込みと実績との差額を次々期接続料原価に算入。

・乖離額の調整により、接続料水準に急激な変動が生じるおそれがあるときは、乖離額を複数の算定期間に分けて接続料原価に算入するなど、当該変動を緩和するための措置を講じることとします。

加入者光ファイバの1芯あたりコスト見込みの推移(西日本) 〔H20～H22〕

